

直営農場での農作業を通じて産直を学ぶ パルファーマーズ～職員一人ひとりが生産者～

生活協同組合パルシステム千葉（本部：千葉県船橋市本町、理事長：佐々木博子）は6月8日（水）から、コロナ禍を受けて休止していた直営農場パルグリーンファーム（野田市）での職員研修を再開します。農産物の一連の供給作業を通じ、生協の産直を肌で感じ取れる次世代職員を育成します。

次世代職員を育成「パルファーマーズ」

次世代を担う生協職員の育成を目的とする研修「パルファーマーズ」は、職員一人ひとりが生産者として農産物の生産に主体的に携わります。2017年度から実施してきましたが、コロナ禍を受けて研修参加者の受け入れを休止していました。この度、2022年度を迎え6月8日（水）から再開する運びとなりました。

生協の利用者向けに開催している収穫体験会と異なり、参加職員は草取りから収穫した野菜の袋詰めを含む農産物の一連の供給作業に携わります。5月に一足早く行われた新卒職員向け研修では、生産の大変さを実感するとともに、「丹精込めて栽培された野菜を利用者へ届ける使命を強く感じた」という声も上がりました。

パルグリーンファームは、2012年にパルシステム千葉が農業生産法人として立ち上げ、今年9月で設立10年を迎えます。野田市の遊休農地を活用し、職員自身が農業者として農薬や化学肥料に頼らない土づくりによる野菜の栽培にチャレンジしています。

今後も次世代を担う職員を中心に、年間を通じて農作業に携わり、産直を学ぶ場として「パルファーマーズ」を継続していきます。



▲草取りの様子



▲育苗用ポットにトウモロコシの種を植える様子

生活協同組合パルシステム千葉 組織・広報部

TEL 047-420-2605 / FAX 047-420-2400

ホームページアドレス <https://www.palsystem-chiba.coop> / E-mail palchiba-hp@pal.or.jp

生活協同組合パルシステム千葉 千葉県船橋市本町2-1-1 船橋スクエア21 4階 理事長：佐々木 博子
組合員総数：25.2万人(2020年度末) 総事業高：355億円(2020年度末)